

PFAS について

拝啓、時下ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より当協会の活動にご理解とご協力を賜り、誠に有難う御座います。

昨今、マスメディア等で 飲料水(水道水含む)に含まれる「PFAS」について話題になっておりますので、改めて「PFAS」についての説明をさせていただきます。会員各社での教育(勉強会)等にご活用いただければ幸いです。

敬具

【PFAS】

PFOS (ペルフルオロオクタンスルホン酸)及び、PFOA (ペルフルオロオクタン酸)の総称として、PFAS(有機フッ素化合物)と呼び、1万種類以上の物質があるとされています。PFASは、熱・化学 的安定性等の有用な特性から、2000年代初頭まで、様々な工業で利用され、身の回り の製品を作る際にも使用されていた。平成21年(2009年)以降、環境中での残留性 や健康影響の懸念から国際的に規制が進み、現在では、わが国を含む多くの国々で製造及び輸入が原則禁止されています。

～ PFASがなぜ問題視される? ～

有機フッ素化合物は化学構造上、炭素とフッ素が非常に強い力で結びついており自然界では分解されず、海や土壌に堆積し、循環系に長期間残存し続けます。そのため「永遠の化学物質＝フォーエバーケミカル」とも呼ばれるようになり、PFAS は病気との関連が指摘されていますが、科学的なエビデンスはまだ十分ではないためです。

【行政の動向】**① 水道水について(水道法)**

水質管理でもっとも厳しい「水質基準」に引き上げ、遵守を義務づけることとなりました。

河川や地下水などについては、これまでの暫定指針値から「暫定」を取るものの、「環境基準」への引き上げは見送るため、努力義務のままとなります。環境汚染源と思われる半導体工場や事業者が見つかって、PFOS・PFOA が「環境基準」に位置づけられていないため自治体は調査に入ることができない状況となっています。

[水道法_水道水の基準] ※令和7年2月時点

目標値から水質基準値へ (施行日案:令和8年4月1日)

現行) 目標値(暫定)	PFOS+PFOA ≤ 0.00005mg/ℓ
改正後) 基準値	PFOS+PFOA ≤ 0.00005mg/ℓ

② ミネラルウォーター類について（食品衛生法）

令和 6 年以降、食品衛生基準審議会食品規格・乳肉水産・伝達性海綿状脳症対策部会が開催され、議題の一つとして、ミネラルウォーター類中の PFOS 及び PFOA の規格基準の設定について協議がされています。

[基準値について]

第一回食品衛生基準審議会（消費者庁）で協議されました。

◆殺菌・除菌を行わないものにつきましては、CODEX に従うとする。

基準値	製造基準として原水の採水の段階から厳格な管理を行うこととしていることから、従来、成分規格については必ずしも水道水と同様の基準とはせず、原則として ※1 コーデックスのナチュラルミネラルウォーター規格に準拠し、項目の選定を行う。
-----	---

※1 コーデックスとは？

国連食糧農業機関(FAO)と世界保健機関(WHO)によって 1963 年に設立された消費者の健康の保護、食品の公正な貿易の確保等を目的として設置された国際的な政府間機関

◆殺菌・除菌を行うものにつきまして、基準値 0.00005mg/L を設定することとする。

基準値	PFOS+PFOA ≤ 0.00005 mg/L
-----	--------------------------

◆令和 7 年度中に告示、施行(令和 8 年 4 月)から半年前に製造されたものについては、対象外とする予定

◆関連URL

[令和 7 年度第 1 回食品衛生基準審議会\(2025 年 4 月 25 日\) | 消費者庁](#)

引き続き PFAS の基準値に関する行政の動向を注視し、新たな情報や水質基準改正の正式発表等の情報を発信して参ります。

製品水委員会 品質規格部会では、更なる宅配水業界の健全なる発展を目指して参ります。
委員会活動へのご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。